

第85回メーデー



第85回大阪メーデーが5月1日、青空の広がる扇町公園(大阪市北区)で開催され、6千人の労働者、市民が参加しました。集会では、私たち国民の生活や雇用の危機を打開し、日本を再び「戦争できる国」へと突き進む動き、安倍政権や橋下・維新の会による暴走政治にストップをかける国民的・府民的共同のたたかいをすべての職場・地域、学園から強めていくことを誓いあいました。また、大阪府下でも、堺、豊能、河南など15カ所で地域メーデーが開催され、のべ1万5千人が参加しました。

団結の力で

暴走政治をストップ!

安倍政権は、憲法の平和主義を破壊し、日本を戦争できる国にし、労働者派遣法など労働法制の大改悪で日本を世界で一番企業が活動しやすい国にしようと、暴走を続けています。しかし、国民の願いは正反対。今こそ憲法をいかにした社会が求められています。

4月24日の夕方、大阪駅ヨドバシカメラ前で、大阪労連は、全労連が全国で100万筆を目標にとりくみを進めている、かがやけ憲法署名の推進、秘密保護法廃止に向け「かがやけ憲法! 秘密保護法廃止! 暮らし、職場で憲法をいかにそう!」署名宣伝行動を行いました。

暮らし、職場で憲法がいかされる社会に向け



若者の署名が目立った

「かがやけ憲法署名」をひろげよう!

高々と要求を掲げたアドバルーンに囲まれた扇町公園では、第85回大阪メーデーの開会を告げるファンファーレに続き、開会宣言が響き渡りました。

主権者挨拶で実行委員長の川辺和宏大阪労連議長は「今、深刻な消費税増税による社会全体への打撃や医療介護の一体改革による国民生活の危機的状況が進んで、格差と貧困は拡大するばかりです。労働者の賃上げ、雇用・国民生活の改善、消費税増税を撤回し、さらなる引き上げ阻止し、平和と憲法を守る上でも、政治の流れを変えることは不可欠となっている。暴走政治を許さない大きな国民共同のたたかいをすすめるようでありませんかと呼びかけ、参加者は拍手でこたえました。各界からの決意表明で



は、TPP参加反対、憲法守れなどの訴えに、労働者府民のたかう決意で会場がいっぱいになりました。「社会保険制度改悪反対」原発なくせ!「集団的自衛権の行使反対!」「暴走政治ストップ」「いかにそう憲法」などと書かれたプラカードや横断幕を持ち市内コースに分かれて元気よくデモ行進を行いました。

▶団結の力で悪法ストップするなっしー



◀デコプラコンクール1位の大阪府職労の力作

国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



▼4月に多くのマスコミで「校内人事の選挙」が問題という報道がされ、国会でも取り上げられた。しかし、当たり前のことだが、その根拠となっている学校教育法に教職員の意向を校長が尊重してはいけないとは書かれていない▼今回の校内人事に関する攻撃の背景には、現場教職員の自主性・自発性に基づく教育活動を敵視する橋下・維新の会がすすめる、安倍首相が後押ししている、政治による教育の支配・統制がある▼教育現場だけでなく、全ての職場で「労働者が自由に意見が言える」ことが大切だ。そうした中で、働くやりがいが発揮されるはず。その保障は団結の力。力を合わせて頑張っていく。

天満でとどけ